

第2回 むつ市子ども・子育て会議 会議録（要約）

開催日 平成26年2月24日（金）13:30～15:30

開催場所 むつ市役所本庁舎 第3会議室

出席委員（14名）

長津亜紀江 委員、畑山由美子 委員、山形江理子 委員、生田昭彦 委員、
中村俊三 委員、木下有紀子 委員、納谷順子 委員、小川千恵 委員、
工藤千栄子 委員、佐々木さとみ 委員、佐々木正 委員、佐藤 俊介 委員、
千葉喜勢子 委員、畑中ゆかり 委員、中村由美子 委員

欠席委員（3名）

新渡貴美子 委員、千葉喜勢子 委員、宮木正信 委員

事務局（9名）

保健福祉部 花山部長、古川政策推進監、工藤事務調整官
児童家庭課 掛端課長、吉田総括主幹、小田主幹、山本主事、家政主事
教育委員会総務課 松宮課長

【会議次第】

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議事
 - (1) 子ども・子育て支援計画基礎調査報告書について
 - (2) アンケート調査報告書について
- 4 その他
- 5 閉会

【議事録】

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議事

(1) 「子ども・子育て支援計画基礎調査報告書について」

資料1 「むつ市子ども・子育て支援計画基礎調査報告書」に基づき事務局より説明

○委員

保育サービスの充実、という部分の病児・病後児保育事業について、「現在、病児保育について検討しています。」という部分があり、現在はファミリーサポートセンターと同じ建物内で「おひさまルーム」という病後児保育事業が行われておりますが、病児と病後児は一緒には保育できないと思いますので、具体的にどのような形で検討されているのか、ということをお教えいただけますか。

○事務局

現在、病後児保育を実施していますが、保護者の方からは病気のときに見ていただけないかという声もあります。病児保育を行うにあたっての基準等も病後児とは違ってくると思いますので、そのあたりを含め今後検討していきたいと考えています。

○委員

関連して、基礎調査報告書の平成26年度利用目標が、1,560人となっておりますが、それは先程の病児保育の実施を見越して考えているのでしょうか。今年度は12月までの実績で56人となっておりますが、関連はあるのでしょうか。

○事務局

平成26年度の目標値は、計画策定時の目標値であり、平成22年3月に策定しました子育てプラン21の中での平成26年度目標として1,560人という高い目標を掲げておりました。今回の資料内の目標値は、計画の見直し等も行われていないため、そのままの値となっておりますので、ご理解願いたいと思います。

○会長

ただ、56人から1,560人というとあまりに飛躍しすぎなので、現在の利用人数の2～3倍くらいが妥当ではないでしょうか。

病児についても事業の予定がまだ確定してないのであれば、実際に則した目標値にしてみるのも1つだと思いますがいかがでしょうか。

○事務局

今回のアンケート調査でニーズを見極めながら、平成27年度からの計画に盛り込んでいきたいと考えております。

○委員

基礎調査報告書の中で出てきました、放課後児童クラブのことについてご質問させていただきたいと思います。

放課後児童クラブでは現在、何時まで児童をみてもらえるのでしょうか。

○事務局

平日、学校がある日は12時40分から18時までとなっております。土曜日、夏休み・冬休み等は、7時45分から18時までを受入時間としております。

○委員

関連して、放課後児童クラブについてですが、春から長女が小学校に入学するんですが、この会議に出席するにあたり、なかよし会を利用すれば会議に出席できると安易に考えていたのですが、学校からの説明で、なかよし会は1日だけの利用は対象としていないということでした。

今現在、幼稚園で利用している預かり保育は、何かあったときに預けられるという安心感があり、利用させていただいています。1日150円で利用でき、14日以上利用で2,000円となっております。もし今後むつ市で、親の就労に関係なく、また1日単位でのなかよし会の利用を検討していただければ、親としてはとても助かり安心できると思いますので、よろしくお願いいたします。

○事務局

今現在、なかよし会の受入については、保育に欠けるということで、基本、保育所と同じような要件を満たしている場合に受入を行っております。今おっしゃいましたように、必ずしも長期でなくても短期での預かりということも考えられますが、現状では、長期の場合のみとなっております。

市としては、保育所での受入条件等も変化してきていますので、いろいろと考えていかなければなりません。また、なかよし会は小学校3年生までの受入ですが、年齢を上げるというような動きにもなっていますので、総合して検討する必要があります。

ここでは即答できませんが、意見として承りました。

○委員

私も娘がなかよし会に入っておりますが、定員が100%を超えている状態で、私が申込みした時点で定員がいっぱいだったようで、私の後に希望した方が入れなかったということでした。1年間そのまま、子供をどこかに預けたりしながら見ていたと思いますが、定員を超えている学校について、今後1～2人分でも定員を増やしていくという予定はあるのでしょうか。

○事務局

現状として、なかよし会の加入率がすごく高くなっております。特に今年の新1年生は昨年の1年生に比べて加入率が高くなっています。

定員を超えているところも何ヶ所ありますが広さの基準等もあり、そのあたりを勘案しながらやっているのですが、学校を借りておりますので、人数を増やすためには違う教室を借りなければならないということになります。

また、少子化といっても、保育所もそうですが、子ども達の申込みは増えている状況にありますので、そのあたりも踏まえて、今後どうするのか、今年の申込み状況を確認しながら教室を増やすなり、学校とも協議しなければならない時期に来ていると思います。

併せて、ニーズ調査でもやっておりますが、小学校4年生以上についても今後どうするのか、ということも含めて検討していかなければならないと思っております。

○委員

保育所・保育園の待機児童について、今年は結構な人数がいると聞きましたが、基礎調査報告書の中では、そういった情報は見えてこないもので、そのあたりの現状把握が今後の計画では大事な部分になると思いますので、反映させていただけたらと思います。

○事務局

ただいまの質問についてですが、今年、子ども議会がありまして、その中で生徒から、待機児童に関する質問がありました。その時点で30名程と回答しておりましたが、現在、40名の待機児童がいます。例年であれば、10名くらいで、0～2歳児となっておりますが、今年度は、40名全てが0歳児となっております。

今までの流れから見ますと、0歳児が40名の申込みがあるということ自体、なかったことですので、市でも分析をしているところです。今年度、整備している保育所もあり、乳幼児の受入を増やす施設もありますので、4月以降の動向も見えていきながら、各保育所での0歳児の受入の依頼や、新しい施設等も検討しなければならないと思っています。

また、0歳児については、むつ地区に集中しており、全ての保育所において、0歳児は入所不可のため待機している、という状況です。

○事務局

補足させていただきます。4月1日時点では定員内におさまっており、4月以降、職場に復帰する等の理由で年度途中の申込みがあり、積もり積もって40名となった、とお考え頂ければと思います。平成26年度以降は、保育所の整備も進んでおり、0歳児の定員も増やせる予定ですし、既存の0歳児をやっている保育所でも、8人までは3人に1人の保育士が必要で、9人以上になると看護師を置かなければならないという基準もありますので、そういった基準をクリアしながら、年度途中でも受入人数を増やせる施設がないか、ということも検討して行かなければならないと思っています。

○委員

待機児童に関連して、都市部や人口が多いところでは、待機児童がすごく話題になっておりましたが、家庭的保育事業の保育ママとか、小規模な保育の方法もあり、都市部あたりでは結構取り組んでいるところもあるようです。むつ市では今のところ、実施する予定ありません、となっておりますが、待機児童の問題があるなら、保育所のことだけでなく、保育ママ等についても検討していただければと思います。

○事務局

平成27年度から新保育システムが開始されますが、その中でも家庭的保育事業、小規模保育事業等の少人数で預かれるような体制についても、認可保育所のように認可されることになっています。平成26年度がその認可に対する申請の期間になりますので、市で基準を条例化しながら募集していくことになりますので、そのあたりも踏まえて考えています。

○委員

それであれば、検討している、ということですね。資料では実施していないとなっているので、検討していると書いた方がいいのではと思います。

(2) アンケート調査 調査報告書について

資料2「むつ市子ども・子育て支援計画策定のためのアンケート調査 調査報告書」に基づき事務局より説明

○委員

3ページの父親の就労状況ですが、こちらは配偶者がある、ないという質問との関連はあるのでしょうか。例えば、父親がいらっしゃらない場合に、父親の仕事が「なし」を選択している等、わかるのでしょうか。

○会長

ひとり親世帯の場合にはどのような回答をしていらっしゃるのかということですね。

○事務局

ひとり親世帯の方は、回答者の配偶関係から、配偶者がいないと選択することで、ひとり親であると推察されますが、「保護者の方の就労状況について伺います。ひとり親の方は、ご自身にあてはまる方でお答え下さい。」という質問になっていますので、母親であれば母親、父親であれば父親の欄に回答してきていると思います。

○会長

回答者の配偶関係を見ると、8.7%の方が配偶者はいないと回答しているため、就労状況については、無回答の中にひとり親家庭の方の回答がはいっていると考えてよろしいのでしょうか。

○事務局

大体はそうなっていると思います。詳しくは、ひとつひとつの調査票をリンクさせて見ればわかるかと思いますが、基本的には無回答になっていると思います。

○会長

現段階では、詳しくわからない部分もありますが、今後は、例えばひとり親の8.7%の方だけ見るとどうなるか、という内容等も見えてくるのではと思います。

今回は概略ということで、全体で見たときにどのような傾向になっているかという内容になるかと思っています。

○委員

こういった形で地域住民の生の声が聞いていただく機会ができて良かったと思う反面、子どもの教育に何が必要なのかと考えなければ答えが出ない質問であれば無回答でも仕方ないと思いますが、就労している・していない等、明らかに答えが出る質問について、無回答が多かったりというのが少し残念に思います。

前回の会議でも少し出ましたが質問が少し難しかったかとは思いますが、自分も子供2人分の回答をしてみて、就労や家事をしながら、質問に対する答えを出すのが大変な部分もありましたので、他の方たちはどうだったのかなと思っていました。

先程、放課後児童クラブのお話や、保育所の待機児童のお話が出ましたので、こちらの集計結果を見てから少し考えたいなと思っていたのですが、保育園等だと、16時～17時頃にお子さんのお迎えに来る方が大半で、職場の人からも18時半頃にお迎えに行くと、自分の子しかいなかった等の話も聞いていたので、フルタイムの方よりもパートの方のほうが多いのかなと思っていたのですが、意外に母親が就労している方の中で、フルタイムで働いているの方がパートの方より多かったのには驚きました。

先程の放課後児童クラブについても、自分の場合は18時までには迎えに行けないから、利用しないで自分で家に帰っていてくれたほうが良いなと思っていて、児童クラブの利用時間が延びて欲しいなど、個人的には思っていたのですが、この回答を見ると、延ばして欲しいと思う方はそんなにいないのかなと思いました。

また、自分の職場でも、育児休暇を取っている方が2名います、子供が6ヶ月になったら預けて復帰するという予定になっておりますが、産休明けすぐに復帰するというのはすごく大変なことです、なんとなく自分のときは、育児休暇をとることを職場に対して言いづらい部分がありましたが、ここ数年で育児休暇を取りやすい環境になったのかなと思います。育児休暇を取りやすくなったこと、女性が社会に進出しやすくなったことで、0歳児を預けて職場に復帰したい、仕事を始めたいという方が非常に増えてきているのかなと思います。

○委員

資料の中で不定期に利用している事業というのがありますが、当てはまる番号それぞれにつき、一年間のおおよその利用日数をお答え下さいという質問になっていますが、回答は25となっており、25日ということなのか、類似の質問で、必要日数を聞いている部分で506となっており、こういった集計方法になっているのでしょうか。

○事務局

具体的に利用日数や必要時間を書いて下さいという部分は、今回の速報値にはまだ出ていませんので、質問に対する回答が変だと思われる部分は何ヶ所かあるかと思いますが、単純集計で25人の方が選択したと捉えていただければと思います。

○委員

今回のアンケートの配回収率が就学前で41.1%、小学生で49.1%と半分を切っていますが、前回このようなアンケートをされたときも、このくらいの回収率だったのでしょうか。

○事務局

前回の結果については、小学生は学校を通じて配布回収をしており、かなり高い回収率となっていました。郵送での回収であれば50%前後の結果となることを確認しております。

○委員

せっかく市民の意見を吸い上げてもらえるアンケートだったのに、回収率が低く残念に思います。

4 その他

○事務局

次回の会議の開催でございますが、今年度につきましては今回で終了となります。次回は新年度の早い時期にと考えております。

○会長

事務局から、次回の会議の開催は新年度の早い時期とのことです。委員の皆様なにかありますでしょうか。

○委員

一つお願いがあるのですが、報告書等について、もう少しわかりやすく、見て理解できるようなものにしていただければと思います。

○委員

開催時間は、次回も午後になりますでしょうか。午後であれば子供を預けなければ出席できませんので、他の委員さんやお仕事している方もいらっしゃると思いますが、例えば午前中からお昼までに終了というのはどうでしょうか。

○会長

午前中は都合が悪い委員の方はいらっしゃいますか。

特にないようですが、午前中の方がご都合が良さそうですので、10時位からというのはいかがでしょうか。

○事務局

検討させていただきたいと思います。

○会長

それでは、本日予定しておりました審議事項は全て終わりましたので、これを持ちまして終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

○司会

委員の皆様、長時間にわたりありがとうございました。これもちまして、本日の会議を終了いたします。お疲れ様でした。